

慶念寺の掲示板 第四十四回

つかがい

：」と言つてしまふ私がいます。

わかつちやいるけど
この服小さく
なつちやつた」と
言つてしまふ私

「わかつちやいるけど『この服小さく
なつちやつた：』と言つてしまふ私」

子どもの成長は早いもので、「この服、もう
う短いねえ！」と言うことも多いです。
その他にも、かつてはお洋服が好きだったた
ち。特に学生のころに、色々やりくりしてち
ょつと背伸びしたお値段の服などはなかなか
捨てられません。なので、衣替えの時に時々
出してみるのですが、若干の締め付けを感じ
つつも着られるんです。でも、ボタンが閉ま
らない。頑張つても閉まらない。そういつた
時に「この服小さくなつちやつた：」と呟き
ます。でも、しまつても服は小さくなり
ません。私が大きくなつたんです。子どもの
服にしても、子どもが成長したんです。で
も、「この服が小さくなつちやつた

いくものなのです。これを「自分中心のもの
の見方」というのです。「自分中心のもの
の見方」と言うのは「自分がよければいい」で
はなく、わかつてはいるけど、自分を基準に
考えてしまう私のあり方を表しています。だ
から、理想と現実の間に苦しむ。それ
が私たちなのです。



今回は、服でお話しましたが、それ
が健康のこともあるかもしれません。
キャリアのこともあるかもしれません。人間
関係のこともあるかもしれません。自分中心
のものの見方で見ていると、どうしてもま
ならないのが私たちの人生なのです。
でも、ここから離れられないのも私たち。
だから時として傷つけあってしまうことも、
苦しむこともあるのです。そのような私たち
だからこそ、届いてくださるおはたらきがあ
る。とらわれから離れられないからこそ「そ

行の後に、二名の学生さんからお取次ぎをい
ただきます。そして、その後は住職が勝手に
師匠とお慕いしている葛野洋明先生より、ま
け多くの方にお参りいただきて学生さんの研
鑽の一助となれればと存じます。

日時は五月二十四日(土)十四時から。

勤

帰敬式のおすすめ(法名)
帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに
生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な
儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬
式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご
希望の方は慶念寺にお尋ねください。



学生さんが研鑽に来ます!



来月の法話会は住職も
かつて在籍していた龍谷
大学実践真宗学研究科の
学生さんが、布教実践を
しに来てくれます。これ
は、布教の経験を積むた
めに、引率の講師の先生
と一緒に実際にお寺で法
話をするというもので
す。住職もそうですが、
公開講座などでご縁をい
ただいてる南條了瑛先生も学生時代に布教
実践で研鑽を重ねました。

しかし、布教実践は聞いてくださる方がい
らっしゃってこそです。ですので、出来るだ
け多くの方にお参りいただきて学生さんの研
鑽の一助となれればと存じます。

のまま抱きとるよ」という阿弥陀如来が届いて
くださっているんです。そのはたらきの中
にあるからこそ、自分自身のあり方を見つ
め、一歩一歩しつかりと歩んでいこう。そう
思い、今月の掲示を「わかつちやい
るけど『この服小さくなつちやつた
：』と言つてしまふ私」にいたしました。

：」と言つてしまふ私にいたしました。

のまま抱きとるよ」という阿弥陀如来が届いて
くださっているんです。そのはたらきの中
にあるからこそ、自分自身のあり方を見つ
め、一歩一歩しつかりと歩んでいこう。そう
思い、今月の掲示を「わかつちやい
るけど『この服小さくなつちやつた
：』と言つてしまふ私」にいたしました。

築地本願寺の降誕会 が勤まります！

五月二十一日（水）築地本願寺にて、親鸞聖人のお誕生日を機縁とした降誕会（ごうたんえ）という法事が勤まります。



法要は一日中やつておりますが、住職は十二時三十分

から行われる献茶式（けんちやしき）から雅楽を演奏する

楽人として出仕し、献納楽（けんのうがく）・法要とずっと演奏をしております。当日の詳しいタイムテーブルは築地本願寺のHPで知ることができますので、是非ご確認ください。

また、法要終了後には帰敬式を受式することもできます。帰敬式とは、生前に法名をいただく式で、浄土真宗では生前におかみそりを受けて法名を賜るのが本来のあり方です。仏弟子として生まれる人生で二つ目の誕生日という事も出来ます。ご希望の方は、住職まで決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

仏事について何かあつたらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。そ

の際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また

日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直

接お願いいたします。

でお知らせください。ただし、希望の文字をお付けする「内願法名」は受式三か月前の申請が必要ですので、今回は宗派で選定しています。「選定法名」のみの受付となります。

寺報の発送作業のお手伝いをしていただけます。また六月二十七日に控える雅楽会の演奏会。今方を募集いたします。

日時・令和七年五月二十一日（日）

十四時から

場所・慶念寺本堂
内容・寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折つて封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありますたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。



ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけではなくご自宅でのご法事や、お

気軽にご相談ください。また、お布施に関する質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

次回の法話会は

五月二十四日（土）十四時から 慶念寺本堂



浄土真宗本願寺派
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com
ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>

慶念寺ホームページ QR コード

編集後記



先月の編集後記でも書きましたが、来月に学生さん

と師匠がお話に来てくれること、そして、六月十五日の法話会にはバイオリンのお坊さんがお話に来てくれます。また六月二十七日に控える雅楽会の演奏会。今

からとても楽しみです。

ちなみに住職、雅楽会の演奏会では「納曾利（なそり）」と言う楽曲に舞で出演すべく絶賛練習中。これが見た目以上にハードで、連日しっかりと汗をかいています。練習のし過ぎで、若干膝が痛い。もう二十代のころとは体が違うことを文字通り痛感しております。

そして、来月の寺報の発送作業は法話会の次の日。連日になってしましました。なぜならば、学生さんの法話の後に、ちょっとだけ講義をしなければいけないから…。申し訳ありませんがご予定いただけますと幸いです。